

## 浅沼組が、相葉雅紀さん主演映画『4アウトーもう一度、プレイボールー』に協賛

～2026年11月6日(金)に全国公開決定！～

株式会社浅沼組(本社:大阪市浪速区、代表取締役社長:浅沼誠)は、相葉雅紀さん主演の身体障害者野球を描いた映画『4アウトーもう一度、プレイボールー』の理念に共感し、このたび同映画に協賛することを決定いたしました。加えて、同映画が2026年11月6日(金)に全国公開することが決定されました。

なお当社は、2018年より「日本身体障害者野球連盟」への協賛を通じ、身体障害者野球を継続的に支援してまいりました。今後も、同競技のさらなる発展を通じて、障がいの有無に関わらず誰もが情熱を持って挑戦し共に輝ける社会の実現を目指し、社会貢献に邁進してまいります。

### ◇ あらすじ

社会人野球を戦力外となり、夢をあきらめた主人公・矢上(相葉雅紀)は再就職先として選んだ障害者スポーツセンターで、野球をやりたい障がい者たちと出会う。“障がい者に野球は無理”と決めつけられ、反対される中、矢上は彼らの監督として野球チームを作ることに。一度は挫折しながらも、野球を愛し続ける人間たちそれぞれの人生が交わり、「全国身体障害者野球大会」で日本一を目指し挑戦を始める。

### ◇ 実話を基にした感動の物語

東京に初めて結成された身体障害者野球チーム「東京ブルーサンダース」創設にまつわる実話をもとに、奇跡の物語が誕生しました。タイトルの“4アウト(読み:フォーアウト)”には、人生は、3アウトでは終わらない、挫折をしても決して諦めずまた歩き出す、というポジティブなメッセージが込められています。

原作は、作家平山讓氏による小説『4アウトーある障害者野球チームの挑戦』(中央公論新社刊)。“もうひとつのWBC”と言われる「世界身体障害者野球大会」第1回大会実行委員長(第2回大会以降は、大会名誉顧問)である長嶋茂雄読売巨人軍終身名誉監督が「挑むことを諦めない。だから人生は楽しい。」と熱いエールを送った作品です。

### ◇ 主人公の矢上を演じるのは、相葉雅紀さん

2025年11月7日にクランクイン、2026年2月15日にクランクアップ。前橋市、太田市、伊勢崎市、高崎市、桐生市といった群馬県各地と、一部都内にて撮影が行われました。



原作「4アウトーある障害者野球チームの挑戦」 書影

### 相葉雅紀さん コメント全文

脚本を初めて読んだときは、ノンフィクションなのにこんなにもドラマチックなお話があるのかと、心を揺さぶられました。今回の作品で「障害者野球」という世界にはじめて触れましたが、実際に選手たちのプレーを見て、投げる球は速いしキャッチングも上手く、グローブのさばき方も巧みで驚きました。ひとりひとり環境が異なり教科書のような正解があるわけではないなか、自分なりに最善のプレーができるやり方を見つけていたり、装具があったりなど、目を見張るものがたくさんありました。共演した野球チームのメンバーとは何度か食事に行ったり、ノックやキャッチボールなどの練習を通じて、心のキャッチボールもできた気がしています。共演者の中には、実際に障害者野球チームに所属してやっている方もいらっしゃるし、アスリートのように体が動く方ばかりなので、遠慮なくノックを打たせてもらいました。撮影が進むごとにチームの結束力、チームワークがどんどん良くなっていったと思います。試合のシーンでは撮影するのが困難なカットも、チームのみんなで乗り越えて作りませんでしたので、完成した作品を楽しみにしていただけたら嬉しいです。

## ◇『4アウトーもう一度、プレイボールー』公式サイト

<https://4out-movie.com/>

(外部サイトへ遷移いたします。)

## ◇身体障害者野球とは

障害者手帳を持つ選手たちが軟式ボールを使って行う野球で、障害の特性に配慮した独自のルールが適用されます。世界の盗塁王・福本豊氏の「キャッチボールやろうや！」の一言から、1993年に特定非営利活動法人日本身体障害者野球連盟(JDL) (<https://www.jdl.or.jp/>)が発足。33年経過した現在、全国36チーム、登録選手約1,000名が、毎年春と秋の全国大会を目指して活動しています。浅沼組は、これらの理念や活動に共感し、2018年より同連盟へ協賛をしております。

また、2006年WBCでの日本の優勝をきっかけに、日本で開催された「世界身体障害者野球大会(“もうひとつのWBC”)」は、長嶋茂雄名誉監督が自ら大会の実行委員長(第2回大会以降は、大会名誉顧問)を引き受け、以降、WBCと同じ4年おきに開催されています。今年、第6回大会が11月に北九州市で開催され、日本代表チームは三連覇と5度目の世界一を目指しています。浅沼組は、「第6回世界身体障害者野球大会」についても協賛を通じて応援しています。

以上

## 【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社浅沼組

戦略企画本部 コーポレート・コミュニケーション部

TEL:06-6585-5508

Eメール:asanuma\_ir@asanuma.co.jp



11月6日(金)TOHO シネマズ 日比谷ほか全国ロードショー